

講義名	基礎技能B（数的処理）			授業形態	
担当教員	富岡 敦基	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

【目的】
 基礎技能Bは、公務員を目指す学生を対象とする「公務員試験プログラム」に位置づけられる公務員試験対策科目である。
 1年生対象の基礎技能B（数的処理）では、公務員試験で必要となる「基礎能力」に関し、幅広く「講義」と「演習」を織り込み、どのような公務員試験でも必要となる「数的処理」について学ぶ。
 授業内では初回と比較して最終回での理解度ならびに平均点を20%アップすることを目標とする。
 公務員採用試験合格には、当授業を履修するだけでなく、自学自習が前提であることは言うまでもない。
 なお、本授業を履修するには事前ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が求められる（「履修にあたっての注意・助言他」を参照）。

到達目標

「数的処理」を学び、社会人として必要な基礎的な数的処理能力を身につけてもらう。
 同時に、公務員の職種や試験制度、今後の学習方法についても学ぶ。
 試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。
 なお、小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。受講態度が悪い場合には、減点する。

提出課題

- ・毎授業時に練習問題を出す。
- ・公務員試験勉強には日ごろの自習が求められる。宿題を通じて、自分のベースに合わせた学習習慣を身につけてもらいたい。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

練習問題は授業中に講評・解説を行う。
 第3回、6回、9回、12回、15回に実施する小テストに関しては各個人の点数、クラスの平均点をFBシートで返却する。

評価の基準

小テスト（5回×5問＝25問）〔50%〕と受講態度（課題の提出〔15回〕等）〔50%〕の割合で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

本授業を履修するには、ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が必要です。
 【ガイダンス】
 1年前期（5～6月）に目的、内容を紹介する説明会を実施するので、履修希望者は必ず参加して下さい。
 【エントリーシートの事前提出】
 公務員対策は4年間にわたる長丁場の取り組みとなり、強い意志が必要となります。
 そこで履修希望者は、エントリーシートを提出して頂き、それが審査されて履修の可否が決定されます。
 エントリーシートの詳細はガイダンスで説明します。なお、本授業は50人を定員としています。
 【授業に際しての注意】
 試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。
 受講態度が悪い場合には、減点する。
 また、最初の授業時に学習する科目のテストを行い、その時点でどれくらい問題が解けるかや苦手範囲を確認し、15回の授業を通して解けるようにする。
 【履修に際して】
 必ず4限の数的処理 と5限の文章理解 をセットで履修をしてください。
 公務員採用試験対策においては、問題演習を繰り返し解くことが重要である。
 自学自習をすることで、授業で学んだ知識を定着させましょう。

教科書	.地方公務員 寺本康之の超約ゼミ 高卒・社会人試験 過去問題集 2027年度版 (寺本康之・松尾敦基 公務員試験 教養試験対策)	実務教育出版	1540	9784788978140
-----	--	--------	------	---------------

参考図書	.なし.			
------	------	--	--	--

その他

必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画

- 公務員ガイダンス・数と式の計算その1
 - ・ 予習内容 (120分)
 - 公務員試験の数学セクションの概要と出題傾向を確認。
 - 数と式に関連する基礎知識 (数式、項、係数、計算の法則など) を復習。
 - ・ 復習内容 (120分)
 - 数式を使った計算問題を解く。式の展開、因数分解、乗法公式などを確認。
 - 計算の応用問題に取り組み、計算ミスを抑えよう。
 - 公務員試験の過去問を解いて、出題形式に慣れる。
- 数と式の計算その2
 - ・ 予習内容 (120分)
 - 因数分解、展開、代数式の計算に際する基礎を復習。
 - 式の簡単化 (共通因数の抽出、式の整理) について学ぶ。
 - 応用問題に取り組み、計算の精度を向上。
 - ・ 復習内容 (120分)
 - 高度な計算問題 (式の変形、複雑な因数分解) を解いて、理解を深める。
 - 過去問を使って実際の試験形式に慣れる。
- 方程式・不等式
 - ・ 予習内容 (120分)
 - 方程式 (一次方程式、二次方程式) や不等式の基本を復習。
 - 方程式を解く基本的な方法 (移項、因数分解) を学ぶ。
 - 不等式の解き方 (加減法、掛け算による不等式の向き) について理解。
 - ・ 復習内容 (120分)
 - 複雑な方程式や不等式を解く問題を解き、応用力を養う。
 - 方程式と不等式が組み合わさった問題を解く練習。
 - 過去問で、特に関連しやすい問題を重点的に解く。
- 割合・速さ
 - ・ 予習内容 (120分)
 - 割合の基本 (割引率、増減率、百分率) を復習。
 - 速さの問題 (速さ = 距離 ÷ 時間) について理解。
 - 速さと割合に関連した計算問題を解く。
 - ・ 復習内容 (120分)
 - 速さと割合を組み合わせた応用問題 (例えば、相対速さ、追い越し問題) に取り組む。
 - 割合を使った利字や損失の計算問題を解く。
 - 公務員試験の過去問を解き、出題傾向に慣れる。
- 仕事算・時計算・年齢算
 - ・ 予習内容 (120分)
 - 仕事算の基本的な考え方 (仕事量 = 仕事率 × 時間) を学ぶ。
 - 時計算の問題 (時計の針の角度を動かす) を復習。
 - 年齢算の基本的な考え方 (過去の年齢に関する問題) 。
 - ・ 復習内容 (120分)
 - 仕事算・時計算・年齢算を組み合わせた応用問題を解く。
 - 特別に組み合わせが必要な問題 (相対的な速さや複数人の仕事量問題) に取り組む。
 - 過去問を解いて、試験の傾向を理解する。
- 場合の数・確率
 - ・ 予習内容 (120分)
 - 場合の数の基本 (順列、組み合わせ) を学ぶ。
 - 確率の基礎 (確率の公式、条件付き確率) を復習。
 - 基本的な場合の数や確率の計算問題を解く。
 - ・ 復習内容 (120分)
 - 原則と組み合わせを使った実際の問題を解く。
 - 複雑な確率問題 (例えば、サイコロやカードを使った問題) に取り組む。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業の目標は、本学のディプロマポリシー（5項目）と以下の点で関連する。
 ・ 公務員採用試験に向けて、教養科目の核となる『数的推理』『判断推理』を解くことができるようになる。
 ・ 『知識を正確に把握することができる。論理的思考力を培った人材』の育成
 ・ 毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。
 『自主・自立の精神を持った人材』の育成

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

理解度確認表・キャンパスクロスを活用し、不明点や確認事項を学生と講師間で共有する。

実務経験の有無及び活用

備考